

施策名	目標 5－3 野生生物の保護・管理										担当部局名	自然環境局 野生生物課			
施策の概要	絶滅危惧種の生息状況等の調査による現状把握と国内希少野生動植物種の新規指定、保護増殖による種の保存、鳥獣の適切な保護・管理と狩猟の適正化、遺伝子組換え生物等及び侵略的な外来種への対策推進等による生物多様性等への影響防止。										政策評価実施予定時期	令和 9年 9月	政策評価実施時期		
達成すべき目標	新たに種の絶滅が生じないようにするとともに、絶滅の危機に瀕している種の個体数の維持・回復。野生鳥獣による農林水産業、生活環境、生態系への被害の防止。外来種による在来種や生態系への影響の防止。										政策体系上の位置付け	5. 生物多様性の保全			
施策に関係する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	第六次環境基本計画(令和6年5月21日閣議決定)第3部等 生物多様性国家戦略2023-2030(令和5年3月31日閣議決定)第2部 行動計画 第1章 生態系の健全性の回復 行動目標1-3、1-6、第2章 自然を活用した社会課題の解決 具体的施策 2-5-7 クマ被害対策パッケージ(令和7年11月14日クマ被害対策等に関する関係閣僚会議決定)、クマ被害対策ロードマップ(令和8年3月27日クマ被害対策等に関する関係閣僚会議決定)														
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値 年度ごとの実績値							測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠	達成		
		基準年度		目標年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度				
	1	絶滅危惧種のうち種の保存法により指定されている種の割合	-	-	0.15	R12年度	-	-	-	-	-	-	絶滅危惧種の保全を効果的に推進するために、種の保存法に基づく国内希少野生動植物種の新規指定や見直し等を行う必要があるため(生物多様性国家戦略2023-2030中、「行動目標＞具体的施策＞1-5-1 レッドリストの作成と国内希少野生動植物種の指定「絶滅危惧種のうち種の保存法により指定されている種の割合」)。		
	2	絶滅回避率(絶滅危惧種のうち絶滅を回避した種数の割合)	-	-	1	R12年度	1	1	1	1	1	1	新たな種の絶滅が生じないよう、絶滅危惧種の状況について評価するため。		
	3	都道府県が定めるクマの第二種特定鳥獣管理計画のうちゾーニング管理を考慮している計画数	20	令和6年度	34	令和12年度	-	-	-	28	-	-	クマ類の保護・管理の目的である、「地域個体群を将来にわたって安定的に存続させながら、人間との軋轢を軽減する」ことを達成するためには、野生動物の生息状況や生息環境、人間活動等を考慮し、人間と動物の棲み分けを図ることが重要であることから、ゾーニング管理を推進していく。		
	4	奄美大島におけるマンガースの自動撮影カメラによる撮影枚数	0枚	令和6年度	0枚	R10年度	-	-	0枚	0枚	0枚	0枚	-	奄美大島において根絶した特定外来生物マンガースについて、島外からの再侵入の有無をモニタリングし、根絶を維持する必要があるため。	
	5	ヒアリの定着地点数	-	-	0地点	R8年度	0地点	0地点	0地点	0地点	-	-	-	特定外来生物による生態系への被害を防止するため、特にまん延した場合に著しく重大な生態系被害が生じるおそれのある要緊急対処特定外来生物ヒアリの日本国内への定着を阻止する必要があるため。	
	6	都道府県当たりの専門的知見を有する職員の平均数	3.7人	令和4年度	5.0人	令和12年度	-	-	-	5.0人	5.0人	5.0人	5.0人	鳥獣の保護及び管理を効果的に推進するためには、専門的な知見を有する職員が都道府県等の行政機関に配置されていることが重要であるため。(生物多様性国家戦略2023-2030中、「行動目標＞具体的施策＞2-5-7 次世代の鳥獣保護管理の担い手の確保・育成」に基づき、都道府県当たりの専門的知見を有する職員を確保するもの。)	
	7	ニホンジカ・イノシシの生息頭数の推定値(全国)を平成23年度比で半減(推定は毎年度新しいデータを追加して実施。過去に遡って推定値が見直されるため、過去の推定結果も変動する)	推定の中央値 ニホンジカ311万頭 イノシシ127万頭 ※令和4年度に算出	平成23年度	平成23年度比で半減 (ニホンジカ155万頭、イノシシ64万頭)	R10年度	-	-	-	-	-	ニホンジカ155万頭、イノシシ64万頭	-	ニホンジカ・イノシシによる自然生態系等への影響が深刻であり捕獲の一層の強化が必要であるため。なお、当初、令和5年度を目標年度にしていたが(生物多様性国家戦略2023-2030中、「行動目標＞具体的施策＞2-5-7 指定管理鳥獣(ニホンジカ・イノシシ)の適正管理の推進[重点]」)、特にニホンジカの個体数半減が難しい状況にあることから、令和5年9月に目標年度を令和10年度まで延長することを決定した。	
							ニホンジカ303万頭、イノシシ122万頭	集計中	集計中	-	-	-	-		

	学識経験を有する者の知見の活用		SDGs目標との関係	【主な目標】
				【副次的効果が期待される目標】
	政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報			